

令和元年 6 月 28 日

福祉部 国保年金課  
ダイヤル 0742-34-4736

## 「奈良市国民健康保険特定健康診査」の 受診料の無料化について

本市では、40 歳から 74 歳の国民健康保険加入の全世帯において、奈良市国民健康保険特定健康診査の受診料の無料化を実施します。

「国民健康保険特定健康診査」は 生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することにより、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びを抑制し、適正化を図るため、平成 20 年度から行っており、開始から 10 年が経ちました。

しかし、近年の受診率は 28～29%台と低下しております。特に、40 歳から 74 歳では、生活習慣病の発症前の段階であるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる人と予備群と考えられる人を合わせた割合は、男性では 2 人に 1 人、女性では 5 人に 1 人の割合に達しております。

本市では若い時からの生活習慣を見直し、改善することで、その予防、重症化や合併症を避けることに繋がるよう、40 歳から 74 歳の国民健康保険加入世帯について、これまで受診料が無料の非課税世帯に加え、課税世帯一人 500 円の自己負担額をなくし、令和元年 7 月から課税世帯の無料化を実施します。

この取り組みは、奈良県 12 市初で実施します。

- 令和元年度の国民健康保険被保険者は 77,686 人。（6 月 1 日現在）
- 今年度無料実施の対象者の 40 から 74 歳までの方は、59,965 人、非課税世帯は 18,670 人（31.1%）、課税世帯は 41,295 人（68.9%）（6 月 1 日現在）
- 令和 5 年度には、第 3 期奈良市国民健康保険特定健康診査等実施計画で定めた、受診率 40%をめざします。

- 1 目的 糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化の予防のために実施している「特定健康診査」について、受診料を無料化することにより、より多くの方に受診していただき、生活習慣の振り返りや健康づくりについて考えていただく機会を提供する。
- 2 受診期間 令和元年7月1日（月）～令和2年1月31日（金）
- 3 実施場所  
 特定健康診査実施の約700医療機関  
 （市内約210機関、県内他市町村約450機関、三重県伊賀市約40機関）  
 都祁では夏と秋に、月ヶ瀬では秋に2～3日集団検診を実施
- 4 受診内容 糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した「特定健康診査」を実施しています。40歳から74歳までの国民健康保険の被保険者は1年に1回受診できます。
- 5 受診方法  
 ① 該当者には奈良市検診パスポート（封書）を送付（6月21日）  
 ② 各自申込  
 ③ 申込医療機関で受診
- 6 予算 250,423千円（うち、40～74歳課税世帯無料分180,304千円）

7 これまでの取組

年度	被保険者自己負担額		受診率 全体（40～74歳）
	非課税世帯	課税世帯	
H20	1,000円	2,000円	27.0%
21	1,000円	2,000円	24.5%
22	1,000円	2,000円	24.0%
23	<u>無料</u>	<u>1,000円</u>	25.0%

24	無料	1,000 円	27.9%
25	無料	<u>500 円</u>	28.6%
26	無料	500 円	29.7%
27	無料	500 円	30.2%
28	無料	500 円	29.4%
29	無料	500 円	29.7%
30	無料	500 円	30.6% (暫定)
R01	無料	<u>無料</u>	35.0% (目標)

## 8 他市の状況

平成 30 年度      中核市 54 市中 42 市無料  
奈良市は特定健康診査受診率 43 位  
県内 12 市はすべて有料  
令和元年度から      大和高田市と奈良市が無料

## 9 その他

40 歳までの健診      実施なし  
75 歳以上の健診      後期高齢者医療制度の健康診査